

税金の使い方の根本を
変えて 住民の願い実現へ

6月議会では、私（黒田）
は、4つのテーマで一般質
問をおこないました。

全体として「市税収入が
減り、国の三位一体改革で
補助・交付金などが減らさ
れ財政が厳しいのはどの自
治体も同じ。何を重点に税
金を使うかが問題。できな
い理屈ではなく、どうすれ
ば住民の立場で実行できる
かを考えるべき」と迫りました。

☆ 通園・通学の交通費を
助成するべき

こどもの医療費助成
制度のPRの徹底と
一層の拡充を

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)
直通FAX 759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760



「通学費補助」「こどもの医療費無料化」

6月議会…住民の声をまっすぐ届け討論、請願4件の採択主張

「どうしたら、できるか」の視点を



「ごみの戸別収集」「旧桜ヶ丘幼稚園跡地の保育園建設は矛盾だらけ」

☆ ごみの戸別収集とカ
ラス対策について
★ 民間保育所の法人選
定の矛盾について

私（黒田）は、川西市の
実態と近隣市町の調査した
結果を検証しながら福祉充
実にむけて追及。内容は、
たんぽぽだよりで順次お伝
えしていきます。

伊丹市では、

こととも達の通学の安全確
保と保護者負担の軽減を
目的に実施

地元に幼稚園、小・中学校
がないため、けやき坂から
清和台地域へ、日生（美山台・丸山台）や東畦野山
手から東谷地域へ電車やバスで通園・通学しているこ
ども達。

開発・まちづくりをして
きた市の責任、義務教育無
償を原則として交通費助成
をすることや通園・通学バ
スの運行をすることを求め
ました。

各地では要項や規則で範
囲を規定、補助しています。
……(各地の状況)……

・猪名川町・小学校2万円
限度、幼稚園通園バス運行
・三田市・幼稚園・小学校
は負担なし。中学校は補助
(540名、約3300万円
円の予算)

とても低い川西市
合計特殊出生率1.12
子育て支援の拡充を

とても低い川西市
合計特殊出生率1.12
子育て支援の拡充を

4月から県制度が小学校
3年生まで拡充、市として
6年生まで入院無料（償還
払い）がはじまり、喜ばれ
ています。

しかし、所得制限、障害
者・母子家庭等の福祉医療
費助成制度利用者は除外さ
れます。

①受給者証配布の無い人と
福祉医療利用者を中心にP
Rの徹底をすること
②こどもに格差をつけない
よう所得制限をなくすこと
と、近隣市町並みに拡充
(次号に他市町の実態を掲
載します。)

周知は、医師会の協力も
えて窓口でも行なつてい
る。福祉医療利用者は良い
方を利用してもらつてい
いる。さらなる拡充は県
などの動向をみて、努力す
る。



ごまめの怒り！

6月6日（水）には、国民監視が明らかに。6月11日（月）
朝7時から夕方という時間帯では初めての市内訓練の実施。

平和活動だけではなく、
年金や増税反対の取組をし
ている人達をも監視、盗撮
などしていることが明らか
になりました。

ひどい！
自衛隊が国民を監視

対応でした。

6月13日（水）山下よ



武器を携行した自衛隊員
が白昼、住宅地・市街地を行進することは市民に大きな不安や恐怖を与えると日本共産党議員団として、「中止の申し入れ」や「抗議行動」を行ないました。

本共産党議員団として、「中止の申し入れ」や「抗議行動」を行ないませんでした。自衛隊では、「請願は、門の外で受け取るよう」という内部文書が出されてしましました。

しき元参議院議員・堀内照
文国政委員長と都築・新町
練木県議と一緒に伊丹の自
衛隊中部方面総監部に「違
憲・違法な自衛隊の国民監
視行動の中止を求める」申
し入れに行きました。

くらし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが
住んでよかつた
と思える川西市に……

ご意見・ご要望をお寄せください

偽装請負

政治動かす議席

共産党、草の根の力と連携

「日本共産党的市田書記長はこう評価しました。
議員がおこなった『偽装請負』に関する追及は
見応えがあった」「政府側の答弁は、あまりにも形式的であるすぎる」――
「産経」(2006年10月19日付)のコラムで、評論家の勢古浩爾氏

はこう評価しました。
市田書記長の質問
(06年10月、参院予算委員会は、「ワーキング
ア」と呼ばれる劣悪な労働条件で働く人々が激増している背景に偽装請負問題があることを告発し、違法な請負を受け入れるを支払わなかった働きの「サービス残業」。日本共産党は、一九七六年に脊脱タケ子参院議員(当時)が初めて国会で取り上げて以来、繰り返し政府を追及。質問は三百回

残業させて割増賃金を支払わなかった働きの「サービス残業」。日本共産党は、一九七六年に脊脱タケ子参院議員(当時)が初めて国会で取り上げて以来、繰り返し政府を追及。質問は三百回

を超え、群を抜いています。○一年四月、厚労省は都道府県の労働局長あてにサービス残業解消にむけた通達を出しました。是正させた不払い残業代は、五年間で八百五十億円を超えました。

「アービス残業」は、労働条件で働く人々が激増している背景に偽装請負問題があることを告発し、違法な請負を受け入れるアービス残業です。労働条件で働く人々が激増している背景に偽装請負問題があることを告発し、違法な請負を受け入れるアービス残業です。

日本共産党的国會議員は衆院・参院合わせて18人。国会の中では少数です。しかし、国民の願いに心を寄せ、草の根の力と連携して、現実の政治

を動かす大きな働きをしてきました。
偽装請負問題などの例でみると――

政治の

不正・腐敗正す

共産党的力 注目浴びる

「事務所費」問題

「事務所費」問題は、家賃がただの議員会館を「主たる事務所」にながら巨額の事務所費を計上していた問題。昨年十一月二十九日の参院政治倫理・選挙特別委員会で井上さとし議員がとりあげたのに続き、一月三日付「しんぶん赤旗」が閣僚や与野党幹部ら十八人がそれぞれ一千円以上

の事務所費を計上していると一面トッピで追及。マスメディアもとりあげ、事務所費には領収書表に出したくない資金を処理する「抜け穴」となっているのではないかと指摘し、政界を揺るがす大問題に発展しました。

日本共産党が不正・腐敗に正面から切り込むのは、政治を力でやがめる企業・団体献金といっさい無縁で、党費、事業収入、個人献金といふ國民と草の根で結びついた財政で支えられていく清潔な党だからです。

淨財に支えられて

企業献金を厳しく批判

財界の「総本山」・日本経団連は、政治献金とひきかえに財界の要求を

自民・民主に実行させたため、両党に通信簿までつけています。

政党助成金の廃止を主張

日本共産党は、政党が国民の税金を山分けする政党助成金の廃止を主張しています。受け取りを拒否しつづけています。制度開始の一九九五年から今年四月二十日時点までで三千八百四十億円も、

共産党をのぞく各党が山分けしてきた大問題です。

民主党は収入の60%、民主党政金に依存(2005年)しています。



日本共産党

いま2台の「ホンネいいっちゃ CAR」が全国各地を走っています

青年・学生キャンペーン